

第1学年 保健体育科学習指導案

東京都立南多摩中等教育学校

1 単元名 ダンス（フォークダンス・創作ダンス）

2 単元の目標

- (1) 「東京五輪音頭-2020-」の定められた踊り(振付)を「フォークダンス」として捉え、規定の動きからイメージを膨らませた動きを創作することで、動きに変化をつけたり自由に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができるようにする。(技能)
- (2) 創作活動に積極的に取り組み、仲間と協力して互いの良さを認め合うことや、健康・安全に気を配ることができるようにする。(態度)
- (3) オリンピック・パラリンピック教育の一環として、「東京五輪音頭-2020-」を題材に取り入れ、学習を通してオリンピック・パラリンピックの意義等を理解する。(知識、思考・判断)
- (4) 「創作ダンス」の特性を理解し、課題に応じた運動の取組を工夫できるようにする。(知識、思考・判断)

3 単元の評価規準

	運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
単元 の 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。 ・互いのよさを認め合おうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の興味や関心に合ったテーマや踊りを設定している。 ・仲間の課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・発表の場面で、仲間の良い動きや表現などを指摘している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・踊り方の特徴を捉え音楽に合わせて特徴的なステップができる。(フォークダンス) ・表したいイメージを捉え、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。(創作ダンス) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの特性について、学習した具体例を挙げている。 ・踊りの由来について学習した具体例を挙げている。 ・表現の仕方について学習した具体例を挙げている。 ・ダンスに関連して高まる体力について学習した具体例を挙げている。
学 習 活 動 に 即 した 具 体 的 な 評 価 規 準	<ol style="list-style-type: none"> ①「東京五輪音頭-2020-」を恥ずかしながら楽しく踊ることができている。 ②互いの良さを認め合い、協力して練習している。 ③創作を通して仲間と協力して練習課題に意欲的に取り組んでいる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①グループの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指して、練習の仕方を工夫している。 ②規定の動きからイメージした動きを強調させて、リズムや空間を工夫し、構成することができている。 ③見せ合いや発表会で仲間の良い動きや表現などを指摘している。 	<ol style="list-style-type: none"> ①「東京五輪音頭-2020-」の基本の動きができている。 ②模倣を繰り返すことで、表現の技法を身に付けている。 ③練習した作品をダイナミックに踊っている。 	<ol style="list-style-type: none"> ①オリンピック・パラリンピックの意義や五輪音頭の踊り(振付)の意味を理解している。 ②ダンスで用いられる用語や名称、ポイントなどを話し合ったり、学習カードに書き出したりしている。 ③ダンスの学習の進め方や発表の仕方、鑑賞の仕方について理解し、具体例を挙げている。

4 単元観

フォークダンスは、人々の間で長く受け継がれてきた伝統的な民俗芸能で、日本や外国の文化的背景、人々の生活感情や地域性などを思い浮かべて、踊りの特性を知り、仲間と交流を深め合うダンスである。本校では、昨年度まで「ソーラン節」を取り入れていたが、「ソーラン節」は小学校で経験した生徒

も多く、生徒の様々な才能を発揮させるために、より新鮮味のある新たなダンスを検討していたところ、「東京五輪音頭-2020-」の普及啓発の話があり導入を決めた。

本校の多くの生徒は、アップテンポの曲を踊ることは経験があるが「東京五輪音頭-2020-」のようなスローテンポの曲を踊ることは初めての体験である。踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的な動きで踊ることができるようになることが、この単元の大きな目標である。また、この単元では、班のリーダーを中心とした取組を行うことで、互いに協力し意見を交わす中で社会性を身に付けさせ、一つの作品を作り上げる達成感も感じさせていく。更に「東京五輪音頭-2020-」を通して、ダンスに対する生徒の興味・関心を一層高め、振付の意味等を理解させるとともに、仲間の良さを認め協力し合う態度を育てる中で、オリンピック・パラリンピックについて関心を深めることもねらいとする。

「東京五輪音頭-2020-」は、運動が不得意な生徒でも、比較的容易にリーダーになれることから、生徒の様々な才能を発揮させる機会として、今後も授業に取り入れていく予定である。今回、本校ではオリンピック・パラリンピック組織委員会と連携し、ダンスの単元として成果発表会を実施していく。

5 単元の指導計画と評価計画

時間	学習のねらい	学習内容・学習活動	評価規準・評価方法			
			関	思	技	知
1	「東京五輪音頭-2020-」をみんなで楽しく踊ることができる。	○「オリエンテーション」 (ダンスの基本知識から作品へ) ・ダンスの概要について ・「東京五輪音頭-2020-」について ・班分け ・DVDで振付の確認	① 観察			① 学習 カード
2	友達と教え合いながらいろいろな動きを体験し、協力して安全に練習することができる。	○「ウォーミングアップダンス」 (基本の動きから作品へ) ・DVDと踊りの説明書を見て班ごとに練習 ・「ゆうゆう踊り」と「きびきび踊り」の確認 ・「ゆうゆう踊り」と規定の隊形について説明	①② 観察			① 学習 カード
3	踊り(振付)の意味を理解する。	○「運動課題1」(東京五輪音頭の意味) ・復習、隊形の確認 ・二班ごとに互いに見て感想を伝え合い修正 ・班ごとにCDを配布し練習		① 観察	① 観察	①② 学習 カード
4	ポイントを確認してイメージを膨らませながら動くことができる。	○「運動課題2」(班別練習) ・隊形の変化、空間の使い方などを発展させたオリジナル踊り(振付)の作成について説明 ・間奏部の創作練習			② 観察	② 学習 カード
5	空間・隊形移動をすることができる。	○「運動課題3」(班別練習) ・今までの復習 ・オリジナル踊り(振付)でオリンピック・パラリンピックを表現	③ 観察 学習 カード	② 観察		② 学習 カード
6	全体の構成を工夫し、作成することができる。	○「運動課題4」(全体練習) ・二班ごとに感想を言い合い修正	③ 観察 学習 カード	② 観察 学習 カード		②③ 学習 カード
7	班ごとの発表会のリハーサルをし、互いの動きの良いところや踊りの工夫などを見付け、伝え合う。	○「発表リハーサル」 ・通し練習 ・リハーサル		③ 観察 学習 カード	③ 観察	③ 学習 カード
8	班ごとに発表し、互いの動きの良いところや踊りの工夫などを見付け、伝え合う。	○「発表・交流・まとめ」 ・各グループで発表 ・鑑賞 ・感想		③ 観察 学習 カード	③ 観察	③ 学習 カード

6 各時の展開

< 1 時間目「オリエンテーション」(ダンスの基本知識から作品へ) >

(1) 本時の目標

- ・オリンピック・パラリンピックの意義を理解する。
- ・「東京五輪音頭-2020-」を恥ずかしがらずに楽しく踊ることができる。
- ・ダンスの基本を理解し、動きを覚える。

(2) 展開

時間	学習内容・活動	教師の指導・支援	評価規準・方法
導入 (10)	<ul style="list-style-type: none"> ○整列・挨拶 ○本時のねらいと流れの確認 ○準備運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・出席の確認、健康観察を行う。 ・今までに踊ったことのあるダンスを数人に質問する。 ・名前が出なくてもどのようなダンスであったかを聞き、全員で考えさせる。 ・オリンピック・パラリンピックの意義を理解させる。 ・「東京五輪音頭-2020-」はどのようなものか考えさせる。 ・班ごとに準備運動を行う。 	
展開 (30)	<ul style="list-style-type: none"> ○男女で4つの班を作り、班長等役割を決める。 ○「東京五輪音頭-2020-」の映像を鑑賞する。 ○「東京五輪音頭-2020-」を全員で踊る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班が判別できるようにビブスを着用させる。 ・誰でも班長になれる、全員が楽しく参加できる雰囲気づくりを意識した言葉かけを行う。 ・プロジェクターを活用し、「東京五輪音頭-2020-」の振りの映像を見せる。 ・映像を見ながらリズムに合わせて活発にきびきびと動かせる。 ・恥ずかしさを持たせないような雰囲気を作る。 	<p>「東京五輪音頭-2020-」を恥ずかしがらずに楽しく踊ることができている。</p> <p>【関・意・態①】 (観察)</p>
まとめ (10)	<ul style="list-style-type: none"> ○片付け、整理運動 ○整列 ○本時の振り返り ○次時の連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康観察を行う。 ・学習カードに記入させ、振り返らせる。 ・次時の内容を説明し、目標を持たせる。 	<p>オリンピック・パラリンピックの意義や五輪音頭の踊り(振付)の意味を理解している。</p> <p>【知・理①】 (学習カード)</p>

< 2時間目「ウォーミングアップダンス」（基本の動きから作品へ） >

(1) 本時の目標

- ・友達と教え合いながらいろいろな動きを体験し、協力して安全に練習することができる。
- ・「東京五輪音頭-2020-」を恥ずかしがらずに楽しく踊ることができる。
- ・ダンスの基本を理解し、動きを覚える。

(2) 展開

時間	学習内容・活動	教師の指導・支援	評価規準・方法
導入 (10)	<ul style="list-style-type: none"> ○整列・挨拶 ○本時のねらいと流れの確認 ○準備運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・出席の確認、健康観察を行う。 ・前時の内容確認 ・班ごとに準備運動 	
展開 (30)	<ul style="list-style-type: none"> ○班長を中心に練習をする。 ○「東京五輪音頭-2020-」の映像を鑑賞する。 ○「東京五輪音頭-2020-」の基本の動きを理解する。 ○班ごとに練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班長をリーダーに踊りを練習させる。全員が楽しく参加できる雰囲気づくりを意識した言葉かけを行う。 ・プロジェクターを活用し、映像を見ながら基本の動きを理解させる。 ・踊り(振付)の図と説明用紙を用いて、作品のイメージを作る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> ①リズムに合わせて手拍子を6回打つ。 ②両手で「2020」を大きく書く。 ③右・左にはらい、頭の上で輪を作る ④右腕を伸ばし右に2歩 左腕を伸ばし左に2歩移動する。 ⑤ハッピー & ピース ⑥右・左に腕を振り4歩前進する。 ⑦右・左に腕を振り4歩後退する。 ⑧時計回りに1回転し右側で手を叩く。 ⑨反時計回りに1回転し右手で右膝を打つ。 ⑩右に3歩移動し4歩目で手を叩く。 ⑪左に3歩移動し4歩目に両手で両膝を打つ。 ⑫左手で顔の前に3拍 右手で顔の前に2拍叩く。 ⑬頭上に輪を作り右足から2歩前進し左足を戻す。 ⑭決めポーズ </div>	<p>「東京五輪音頭-2020-」を恥ずかしがらずに楽しく踊ることができる。</p> <p>【関・意・態①】 (観察)</p> <p>互いの良さを認め合い、協力して練習している。</p> <p>【関・意・態②】 (観察)</p>
まとめ (10)	<ul style="list-style-type: none"> ○片付け、整理体操 ○整列 ○本時の振り返り ○次時の連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康観察を行う。 ・学習カードに記入させ、振り返らせる。 ・次時の内容を説明し目標を持たせる。 	<p>オリンピック・パラリンピックの意義や五輪音頭の踊り(振付)の意味を理解している。</p> <p>【知・理①】 (学習カード)</p>

< 3 時間目] 「運動課題 1」 (東京五輪音頭の意味) >

(1) 本時の目標

- ・踊り(振付)の意味を理解する。
- ・「東京五輪音頭-2020-」をみんなで楽しく踊ることができる。
- ・友達と教え合いながら、いろいろな動きを体験し協力して安全に練習することができる。

(2) 展開

時間	学習内容・活動	教師の指導・支援	評価規準・方法
導入 (10)	<ul style="list-style-type: none"> ○整列・挨拶 ○本時のねらいと流れの確認 ○準備運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・出席の確認、健康観察を行う。 ・前時の内容確認 ・班ごとに準備運動 	
展開 (30)	<ul style="list-style-type: none"> ○班長を中心に練習をする。 ○「東京五輪音頭-2020-」の映像を鑑賞する。 ○「東京五輪音頭-2020-」の動きの意味を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班長をリーダーに踊りを練習させる。全員が楽しく参加できる雰囲気づくりを意識した言葉かけを行う。 ・プロジェクターを活用し、映像を見ながら基本の動きを理解させる。 ・踊り(振付)の図と説明用紙を用いて、作品のイメージを作る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ①2020 (ニゼロニゼロ) の手の動き ②オリンピック→5つの輪 ③パラリンピック→3つの輪 ④五輪の手話表現→両手の親指と人差し指で輪を作り、その輪を手首を返しながら右へ3回作る。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・良いところ、上手くないところを互いに教え合う。 	<p>「東京五輪音頭-2020-」の基本の動きができています。</p> <p>【技①】 (観察)</p> <p>グループの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指して、練習の仕方を工夫している。</p> <p>【思・判①】 (観察)</p>
まとめ (10)	<ul style="list-style-type: none"> ○片付け、整理運動 ○整列 ○本時の振り返り ○次時の連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康観察を行う。 ・学習カードに記入させ、振り返らせる。 ・次時の内容を説明し、目標を持たせる。 	<p>ダンスで用いられる用語や名称、ポイントなどを話し合ったり、学習カードに書き出したりしている。</p> <p>【知・理②】 (学習カード)</p>

< 4時間目「運動課題2」（班別練習） >

(1) 本時の目標

- ・ポイントを確認して、イメージを膨らませながら動くことができる。
- ・「東京五輪音頭-2020-」をみんなで楽しく踊り、オリジナルの踊りを意欲的に創作することができる。
- ・友達と教え合いながら、いろいろな動きを体験し協力して安全に練習することができる。

(2) 展開

時間	学習内容・活動	教師の指導・支援	評価規準・方法
導入 (10)	<ul style="list-style-type: none"> ○整列・挨拶 ○本時のねらいと流れの確認 ○準備運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・出席の確認、健康観察を行う。 ・前時の内容確認 ・班ごとに準備運動 	
展開 (30)	<ul style="list-style-type: none"> ○班長を中心に練習をする。 ○「東京五輪音頭-2020-」の映像を鑑賞する。 ○「東京五輪音頭-2020-」の動きを課題とした作品作りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班長を中心に、班がまとまるような雰囲気全員で作るように言葉かけを行う。 ・映像を見ながら基本の動きを理解させる。 ・オリンピック・パラリンピックをイメージした動き作りを行わせる。 ・踊り(振付)の図と説明用紙を用いて、作品のイメージを膨らませる。 ・互いに助け合い教え合ったり、練習方法を工夫したりして課題を解決させる。 ・課題からイメージを膨らませるヒント(動きのきっかけとなる言葉や動き)を伝え、工夫させる。 ・班内発表会を行い、課題を明らかにする。 	<p>模倣を繰り返すことで、表現の技法を身に付けている。</p> <p>【技②】 (観察)</p>
まとめ (10)	<ul style="list-style-type: none"> ○片付け、整理運動 ○整列 ○本時の振り返り ○次時の連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康観察を行う。 ・学習カードに記入させ、振り返らせる。 ・次時の内容を説明し、目標を持たせる。 	<p>ダンスで用いられる用語や名称、ポイントなどを話し合ったり、学習カードに書き出したりしている。</p> <p>【知・理②】 (学習カード)</p>

< 5 時間目「運動課題 3」（班別練習） >

(1) 本時の目標

- ・空間・隊形移動をすることができる。
- ・「東京五輪音頭-2020-」をみんなで楽しく踊り、オリジナルの踊りを意欲的に創作することができる。
- ・友達と教え合いながら、いろいろな動きを体験し協力して安全に練習することができる。

(2) 展開

時間	学習内容・活動	教師の指導・支援	評価規準・方法
導入 (10)	<ul style="list-style-type: none"> ○整列・挨拶 ○本時のねらいと流れの確認 ○準備運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・出席の確認、健康観察を行う。 ・前時間の内容確認 ・班ごとに準備運動 	
展開 (30)	<ul style="list-style-type: none"> ○班長を中心に練習をする。 ○「東京五輪音頭-2020-」の映像を鑑賞する。 ○前時までの運動課題を取り入れて作品作りをする。 ○空間・隊形移動を作品に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班長を中心に、班がまとまるような雰囲気全員で作るように言葉かけを行う。 ・プロジェクターを活用し、映像を見ながら動きのポイントを確認する。 ・オリンピック・パラリンピックをイメージした動き作りを行わせる。 ・踊り（振付）の図と説明用紙を用いる。 ・班ごとにホワイトボードを利用させ、空間の使い方のイメージを捉えさせる。 ・「その発想はユニークだね」「その動きは、強弱があって、とても良いね」など、生徒の表現をさらに膨らませるようにアドバイスする。 ・表したい動きを強調するように創作の構成やグループの動きに変化をつけさせる。 	<p>創作を通して仲間と協力して練習課題に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>【関・意・態③】 (観察・学習カード)</p> <p>規定の動きからイメージした動きを強調させて、リズムや空間を工夫し、構成することができている。</p> <p>【思・判②】 (観察)</p>
まとめ (10)	<ul style="list-style-type: none"> ○片付け、整理体操 ○整列 ○本時の振り返り ○次時の連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康観察を行う。 ・学習カードに記入させ、振り返らせる。 ・次時の内容を説明し、目標を持たせる。 	<p>ダンスで用いられる用語や名称、ポイントなどを話し合ったり、学習カードに書き出ししたりしている。</p> <p>【知・理②】 (学習カード)</p>

< 6 時間目「運動課題 4」（全体練習） >

(1) 本時の目標

- ・創作を通して仲間と協力し、意欲的に取り組むことができる。
- ・全体の構成を工夫し、創作することができる。
- ・「東京五輪音頭-2020-」をみんなで楽しく踊ることができる。

(2) 展開

時間	学習内容・活動	教師の指導・支援	評価規準・方法
導入 (10)	<ul style="list-style-type: none"> ○整列・挨拶 ○本時のねらいと流れの確認 ○準備運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・出席の確認、健康観察を行う。 ・前時の内容確認 ・班ごとに準備体操 	
展開 (30)	<ul style="list-style-type: none"> ○班長を中心に練習をする。 ○全体空間で入場する位置確認をする。 ○全体で踊る。 ○退場までの隊形の動きを考える。 ○前時までの運動課題を取り入れて作品の踊りこみをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班長を中心に、班がまとまるような雰囲気全員で作りながら、練習させる。 ・全体の動きについて具体的な指示を行う。 ・踊りを全員で合わせながら練習をさせる。 ・班を越えて、互いに助け合い教え合ったり、練習方法を工夫したりして課題を解決させる。 ・班ごとに体型や動きの確認をさせる。 ・創作からダンスの特性（楽しさや、作り出す喜び）を伝えられるように楽しく発表させるよう助言する。 	<p>創作を通して仲間と協力して練習課題に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>【関・意・態③】 (観察・学習カード)</p> <p>規定の動きからイメージした動きを強調させて、リズムや空間を工夫し、構成することができている。</p> <p>【思・判②】 (観察・学習カード)</p>
まとめ (10)	<ul style="list-style-type: none"> ○片付け、整理運動 ○整列 ○本時の振り返り ○次時の連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康観察を行う。 ・学習カードに記入させ振り返らせる。 ・次時の内容を説明し目標を持たせる。 	<p>ダンスで用いられる用語や名称、ポイントなどを話し合ったり、学習カードに書き出したりしている。</p> <p>【知・理②】 (学習カード)</p> <p>ダンスの学習の進め方や発表の仕方、鑑賞の仕方について理解し、具体例を挙げている。</p> <p>【知・理③】 (学習カード)</p>

< 7時間目「発表リハーサル」 >

(1) 本時の目標

- ・発表会のリハーサルを通して、互いの動きの良いところや踊りの工夫などを見付け、伝え合う。
- ・「東京五輪音頭-2020-」をみんなで楽しく踊ることができる。

(2) 展開

時間	学習内容・活動	教師の指導・支援	評価規準・方法
導入 (10)	<ul style="list-style-type: none"> ○整列・挨拶 ○本時のねらいと流れの確認 ○準備運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・出席の確認、健康観察を行う。 ・前時の内容確認 ・班ごとに準備運動 	
展開 (30)	<ul style="list-style-type: none"> ○班長を中心に練習をする。 ○前時までの運動課題を取り入れて発表会の練習をする。 ○良いところ、改善すべきところを班ごとに振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班長を中心に、班がまとまるような雰囲気全員で作りながら、練習させる。 ・班を越えて、互いに助け合い教え合ったり、練習方法を工夫したりして課題を解決させる。 ・創作からダンスの特性（楽しさや、作り出す喜び）を伝えられるように楽しく発表させるよう助言する。 ・鑑賞する態度を徹底し鑑賞のポイントを説明する。 	<p>見せ合いや発表会で仲間の良い動きや表現などを指摘している。</p> <p>【思・判③】</p> <p>(観察・学習カード)</p> <p>練習した作品をダイナミックに踊っている。</p> <p>【技③】</p> <p>(観察)</p>
まとめ (10)	<ul style="list-style-type: none"> ○片付け、整理運動 ○整列 ○本時の振り返り ○次時の連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康観察を行う。 ・学習カードに記入させ、振り返らせる。 ・次時の内容を説明し目標を持たせる。 	<p>ダンスの学習の進め方や発表の仕方、鑑賞の仕方について理解し、具体例を挙げている。</p> <p>【知・理③】</p> <p>(学習カード)</p>

7 学習カード

東京都立南多摩中等教育学校 体験学習カード

ダンス(東京五輪音頭-2020-)

班	ピブス	色
---	-----	---

1年 組 番 氏名 _____

〔班のメンバー ※班長に◎〕	(番名前)	(番名前)	(番名前)	(番名前)
(番名前)	(番名前)	(番名前)	(番名前)	(番名前)
(番名前)	(番名前)	(番名前)	(番名前)	(番名前)

1 ダンスの特性・オリンピックの歴史

2 ねらい

- 1 東京五輪音頭-2020-を通して、東京2020大会やオリンピック・パラリンピックについて関心・理解を深める。
- 2 友だちと教え合いながらいろいろな動きを体験し、協力して安全に練習することができる。

3 授業の計画と見通し

	1	2	3	4	5	6	7	8	
10	・出欠確認	出欠確認 本時の説明							
	・本時の説明 課題の確認	学習内容の確認 用具の準備 準備体操							
15	・単元の説明 ・準備運動	前時間の復習						発表会	各グループで発表 ビデオ撮影
	・DVDの確認	班長全体指導							
30	・基本的な動きの確認 (一斉)	DVDを見てグループで確認		全体の流れ	空間・隊形移動	リハーサル	鑑賞・感想	各グループで発表 ビデオ撮影	
	・グループ分け	グループで練習		最後まで通して 踊ってみよう	構成の工夫・作成				
45		まとめ							

4 学習する内容

- 1 東京五輪音頭-2020-の踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。
- 2 軽快なリズムの踊りを強調して、音楽に合わせてグループでオリジナルの動きを考え、仲間と踊って交流することを楽しむ。
- 3 東京五輪音頭に積極的に取り組み、互いのよさを認め合おうとすることや、健康、安全に気を配ることができるようにする。

5 授業の記録

※自己評価はABCで記入。 A:よくできた B:だいたいできた C:できなかった

①	本時のねらい				
	【練習内容】			【練習してわかったこと】	
月					
日	自己評価	運動量の多さ:	課題取り組み :	正しい方法 :	/
		安全 :	課題達成 :	教え合い :	
	【反省・次の課題】				